

令和 6 年 度

教 育 行 政 方 針

碧 南 市 教 育 委 員 会

はじめに

令和6年第2回碧南市議会定例会の開会にあたり、教育委員会を代表して、令和6年度の教育行政方針と主要な施策の概要を申し上げ、議員の皆様、市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

教育長に就任し、令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3期目の任期を終えようとしております。この期間は、新型コロナウイルス感染症の蔓延期に始まり令和5年5月8日からの5類感染症への移行を経て、令和5年12月にはインフルエンザが全国で警報レベルになるなど、たえず感染症が身近にある状況での教育行政運営となりました。これまで、教育行政の様々な活動に制約が生じることもありましたが、基本的な感染症対策を継続するなかで、各種事業は、コロナ禍以前の状況に近づいてきたと感じております。

さて、令和5年6月に国の教育に関する総合計画である第4期教育振興基本計画が閣議決定されました。この計画では、将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる「持続可能な社会の創り手の育成」及び多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングの向上を目指す「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとして、5つの基本方針と16の教育施策の目標、基本施策及び指標が示されました。

市におきましては、この基本計画を参酌しつつ、令和6年度につきましても、第6次総合計画の基本施策及び第2期碧南市教育大綱の目標であります「人と文化が育ち・支え合うまち」の実現のために、誠心誠意取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

主な施策

碧南市教育大綱に掲げます施策の方針に沿って、令和6年度に実施する施策の中で、主な施策について述べさせていただきます。

はじめに「**学校教育**」の分野でございます。

一つ目、「**教育内容や環境の充実**」としまして、

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、児童生徒一人一人の特性や理

解度、進度に合わせて課題に取り組む場面や児童生徒同士がやりとりする場面での I C T 機器の活用頻度を増やすことに引き続き取り組んでまいります。また、対面指導の重要性や児童生徒の発達の段階にも留意しつつ、オンライン教育を有効に活用した取り組みを進めてまいります。そのために、児童生徒の情報活用能力の育成と教師の I C T 機器活用指導力の向上に努めてまいります。

二つ目、「支援の必要な児童生徒への支援の充実」としまして、

通常学級に在籍している軽度の障害等を有する児童生徒に対して、その特性に応じた支援を行う通級教室につきましては、これまで小学校を中心に設置していましたが、中学校にも拡充してまいります。これによって、小中学校 9 年間で、個別の支援を必要とする児童生徒に対して切れ目のない支援が可能となってまいります。

また、心の教室相談員、スクールアシスタントを増員し、児童生徒への支援の充実を図ってまいります。

不登校への対応につきましては、学校教育課に担当職員を配置し、早期発見、早期対応に努めてまいります。具体的には、不登校の背景が多様化している現状を踏まえ、迅速かつ適切な対応、学校と関係機関の連携への支援に力を入れてまいります。

三つ目、「教育研修の充実」としまして、

学校教育力向上指定研究委嘱校の指定、管理職研修、指導者研修、経験年数 10 年未満の教員を対象とした実技研修、論文の書き方研修等を実施し、教育の質の向上に向けた取り組みを進めてまいります。

また、現代的な課題に対する研修として、学校教育と社会教育の連携を図り、地域の様々な機関や団体等との共同研修を計画してまいります。そして、地域における学びを通じて、社会の構成員としての視野を拡大するとともに対人関係能力の向上等に成果を上げることのできる充実した研修になるよう努めてまいります。

四つ目、「学校施設の整備・充実」としまして、

喫緊の課題として、和式トイレが使えない児童生徒が増えていることから、洋式トイレに改修し、また、床を乾式化することで誰もが使いやすい衛生的なトイレとなるよう、計画的に改修を行ってまいります。令和 6 年度は、中央小学校校舎及び新川小学校南館校舎

のトイレ改修工事を行います。

また、東中学校旧館校舎の長寿命化工事の設計を行い、施設の長寿命化を図ってまいります。

次に「**生涯学習・スポーツ**」の分野でございます。

一つ目、「**地域と連携した生涯学習の推進**」としまして、

碧南文化協会による文協祭及び西三文協美術展をはじめ、各団体において様々な事業が企画されており、事業補助や運営支援を行うことで、地域と連携した生涯学習の推進をしてまいります。

二つ目、「**生涯学習機会の拡充**」としまして、

デジタル化社会に対する不安解消のため、デジタル機器の操作方法を学ぶ、お助けスマホ教室の開催を拡充するなど、市民ニーズに対応した魅力ある文化講座を実施してまいります。

三つ目、「**スポーツに触れる機会の拡充**」としまして、

様々なスポーツ教室の充実を図るとともに、トップレベルの大会誘致に努めてまいります。また、碧南緑地ビーチコートにおいて実施しているビーチバレーボールやビーチサッカーの大会内容を拡充し、全国に情報発信することで、更なる利用の促進を図ってまいります。

四つ目、「**生涯学習・スポーツ施設の維持管理・整備**」としまして、

文化会館の照明機器、勤労者体育センター及び臨海公園ドームの夜間照明のLED化、棚尾公民館のエレベーター改修、勤労者体育センターの壁面改修や沢渡公園グラウンドの防球ネットの設置に加え、南部市民プラザは老朽化が進んでおり、大規模改修工事のための実施設計委託を行うことにより、利用者の利便性を図り、市民の生涯学習意欲の向上やスポーツに親しむ環境を整えてまいります。

次に「**芸術・文化**」の分野でございます。

一つ目、「**自主運営事業の充実**」としまして、

文化財課では、文化会館にて8月上旬から衣浦マンモスプールの歴史を振り返る市史資料収蔵品展や、文化財展といった自主企画展を開催してまいります。

二つ目、「**施設の整備**」としまして、

芸術文化ホールでは、シアターサウス袖幕伸縮幕地修繕を実施し、音楽や演劇等の利便性の高い施設となるよう改修を図ってまいります。

海浜水族館では、外壁改修工事を行い、施設の長寿命化を図ってまいります。また、水族館2階展示エリアについて、来館者のニーズに合わせた内容に一新するための展示設計業務を進めてまいります。

三つ目、「**施設の特色を活かした運営**」としまして、

藤井達吉現代美術館では、藤井達吉の顕彰にふさわしい所蔵作品展や常設展のほか、巡回展「春陽会誕生100年 それぞれの闘い―岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ」展など国内外の優れた美術作品、この地方を中心に活躍した作家や芸術文化に焦点を当てた魅力ある企画展の開催を予定しています。

文化財課では、巡回展「没後100年 富岡鉄斎」展を美術館で開催し、明治年間に碧南大浜にも逗留した富岡鉄斎の名品を展示紹介してまいります。

海浜水族館では、生物の展示を通じたレクリエーションに加え、自然への興味や生物多様性の重要性を伝える取り組みを引き続き進めてまいります。また、夏には「生き物の能力」を、冬には「魚たちの模様」をテーマにした特別展を開催してまいります。

以上、ここに掲げました主な施策を始めとし、継続事業も含めた様々な教育施策につきましては、今後も変わらず、議員の皆様や市民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、令和6年度の教育行政方針といたします。